

≡ 今月のテーマ ≡



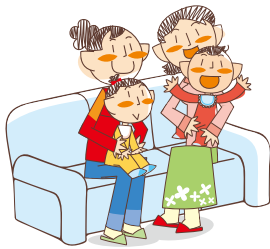
おくすり上手に飲めるかな？

🎃 🎃 🎃 🎃 ~ 子どものくすり ~ 🎃 🎃 🎃 🎃

気温が低くなり寒い季節が近づいてきました。普段は元気いっぱいな子ども達も風邪やインフルエンザなどで体調を崩すことも多いのではないのでしょうか？今回は子ども(小児、乳幼児)にお薬が出た時のために、上手な飲ませ方、使い方を紹介します。

飲み薬の共通

POINT



- ★寝かせたままや泣いている時に無理矢理飲ませると誤って気管に入り、大変危険です。病気でしんどそうですが、機嫌のいい時を見計らって飲ませてあげましょう。
- ★ごはんやミルクを飲み終わると満腹になってしまい、薬を飲めなくなることがあります。用法に「食後」とあっても食後にこだわらず食前や食事中に服用してもいい薬が多々あります。医師や薬剤師に確認してください。



粉薬

- 舌に当たると苦味を感じてしまうことがあるので、スポイトやスプーンを使ってほほの内側に流し込んであげましょう。また、少量のお水やお白湯を加えてペースト状に練り、上あごや頬の内側に擦り付け、お水を飲ませてあげても大丈夫です。



- アイスクリーム、ジュース、ゼリー、プリン等好きな食べ物や、おくすり飲めたね®などの服薬補助ゼリーと混ぜて飲ませてあげても大丈夫です。ただし、ミルクや母乳、ごはんには混ぜないようにしましょう。ミルク嫌い、食事嫌いになることがあります。



※) 注意

- 薬と混ぜる食べ物の種類によっては苦味が増すものがあります。詳しくは薬剤師にお尋ねください。(例：クラリスドライシロップとオレンジジュースなどの酸性飲料)
- 1歳未満児の場合、ハチミツに混ぜてはいけません。ハチミツには稀に含まれているボツリヌス菌により、乳児ボツリヌス症を発症してしまうからです。





シロップ剤(水剤)

- スポイトやスプーンでほぼの内側に流し込んであげましょう。乳児の場合、空の乳首にシロップ剤を入れて吸わせてみましょう。先に乳首だけを口にくわえさせて、乳児が吸い始めたらシロップ剤をいれるとこぼさず飲ませることができます。



その他(外用薬)



坐薬

- 薬を入れた刺激でうんちがでてしまうことがあるので、うんちをだしてから使いましょう。
- 冷蔵庫で保存している場合、固くて上手に入らないことがあるので、手で温めたり、肛門に当てて体温で少し溶かしましょう。水やオリーブ油などをつけて滑りをよくしてもいいです。
- 「1回 1/2 個」など切って使うように指示がある場合は包装状態のまま清潔なカッターで斜めに切りましょう。入れる方向は大人と同じで先の尖った方(太い方)を入れてください。半分に切った残りは破棄してください。
- 坐薬を入れてから、10秒はティッシュで押さえて、坐薬が出てこないことを確認しましょう。その後、坐薬が形のまま出てきてしまったらもう一度押し込みましょう。



めぐすり (点眼薬)

- 子どもを寝かせて脇に足を伸ばし、頭を押さえるとしっかり固定できます。
- あっかんべーのように目を開かせて、目頭付近に薬液を落とし、目を閉じてもらいましょう。
- 一度に複数のめぐすりを使用する場合は5分間隔を開けてから使用しましょう。



最後に…

与える側が一生懸命になりすぎるとお子さんはいっそう嫌がってしまいがちです。上手に飲めたらたくさん褒めてあげましょう。

お薬や介護、食事(栄養)についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、お気軽にお尋ねください。



担当 みやこ薬局 薬大前店

<https://www.miyako-ph.co.jp>

みやこ薬局

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店・桂店